

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成19年 12月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	2271200145
法人名	有限会社 グリーンフォレスト
事業所名	グループホーム 東山
所在地 (電話番号)	静岡県御殿場市東田中 1447-1 0550-63-7070

評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成19年11月14日

【情報提供票より】(平成19年 10月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 04月 01日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 5 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 10 人	

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造 造り	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	63,000 円	その他の経費(月額)	27,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,100 円			

(4) 利用者の概要(平成19年 10月 10日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	7 名		
要介護3	0 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.6 歳	最低 80 歳	最高	96 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東山クリニック ・ 東部病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

富士山が間近に見える自然環境豊かなホームで、市街地の著名な別荘地の近くに位置する。系列ホーム、最近開設された小規模多機能型居宅介護施設を含め、経営者の施設運営のポリシーやホーム理念を職員全員で共有化し、実践されている。介護計画の見直しや満足度評価の仕組みもあり、利用者や家族と職員の関係も良好で、家族アンケートでの評価も高い。願わくば、市町村と積極的に関わり、運営推進会議の定期開催による地域との協力関係の構築や近隣の学校との交流、ターミナル対応指針作りへの取り組みなどが望まれる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>昨年の6項目の改善指摘事項については、カンファレンスで話し合い、5項目について改善されていた。地域・行政との連携強化は、今後の課題といえる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>毎月のカンファレンスの中で職員全員と話し合い、それを何回か繰り返して管理者がまとめたものである。前回の改善課題を含めて検討され、前向きな改善意欲が感じられる。</p>
重点項目 ②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>運営推進会議でホームの概況を報告し、地域との協力関係作り、情報・意見交換等の努力は行っている。しかし、過去3回開催されているが、未だそれを活かすほどの取り組みになっていない。運営推進会議への参加要請を継続して行うなど、会議活性化を図るため、更なる工夫を願いたい。</p>
重点項目 ③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	<p>家族への近況報告やかわら版の発行など情報提供は大変良好であり、「御意見箱」を設置したり、来訪時に家族からの要望・意見を収集し、運営に反映している。</p>
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>ホームと近隣の関係は大変良好で、文化祭への出展参加、定期的ボランティアの協力、五竜太鼓演奏会等交流は活発である。、近隣学校との交流や非常災害時の地域との協力関係づくりなどへ更なる取り組みを願いたい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として、法人代表の拘りとも言える「自立と尊厳」を掲げ、地域の中の一員として、地域福祉の充実の為に、また、住み慣れた場所で馴染みの生活ができる様支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のケアカンファレンスで、理念について話し合い、利用者それぞれの自立と尊厳を尊重し、理念の実践に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域交流会として「五竜太鼓」演奏会の開催や、地域の文化祭に参加し、地元の人々との交流を大切にしており、文化祭では特賞を獲得している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎月のケアカンファレンスで、昨年の要改善点や今回の自己評価について話し合い、具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今迄3回運営推進会議を開催し、そこでの意見をサービス向上に役立てているが、参加者の都合もあり、半年に1回の開催になっている。	○	お互いに忙しい事情はあるが、地域に密着した支援実現のため、全員参加にならなくてもミニ開催等も検討し、開催頻度を高める工夫をお願いしたい。
		○市町村との連携			

静岡県 グループホーム東山

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の会議・研修に積極的に参加し、サービスの質向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月居室担当者より利用者の個別の様子を報告するとともに、隔月にかわら版を発行し、ホームでの暮らし振りを報告しており、家族からも喜びの声が寄せられている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書の中に相談窓口が明示されており、「御意見箱」も設置している。苦情が寄せられた場合は、迅速に対処し、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人事面での配慮の下に、職員の定着を第一義と考えている。必要以上の人事異動は行わない配慮もしており、退職の場合は爽やかな送別会も開催したりしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の中で研修担当を決めており、資格取得に向けて職員間で情報交換をしたりスキルアップを図っている。また、実技の中での教育や外部研修にも参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市主催の会議があり、その中で活発な意見交換がされているが、同業者のネットワーク作りには至っていない。	○	地域の同業者の管理者や職員が交流し、更にサービスの質向上に結びつける取組みをお願いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所希望者には事前に見学をして雰囲気を覚えてもらい、仲良くなれそうな利用者との間を取り持ち、スムーズに馴染んでいけるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のできること・できそうなことを見極めると共に、「シタイ「タイサガシ」を行い、一緒に過ごし支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声を掛け、本人の思いや意向把握に努めている。着替えを一緒に選んだり外出希望など、言葉や表情などからその真意を推し測り、可能な限り実行している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を活用し、本人・家族とも話し合い、担当者会議、毎月のケアカンファレンス会議などで意見交換を行い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度介護計画の見直しを行い、毎月のカンファレンスや変化が生じた場合はその都度現状に即した介護計画の見直しを行っている。日々のミーティングや朝・夕の申し送りなどで介護計画の遂行状況、効果などを確認し、毎月利用者の「その人らしさ」「安心・快」「暮らしの中での心身の力の発揮」「なじみの暮らし」の満足度調査を行い、介護計画の見直しに活かす工夫が行われていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1ユニットの特性、利点を活かし、通院や送迎等必要な支援はホームにて全面的に対応し、きめ細かく個々の満足度を高めるよう努力している。また、併設のデイサービスや同系列ホームの利用者との交流などの柔軟な支援が行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等と話し合い、かかりつけ医の継続やホーム提携医療機関への移行など、適切な医療が受けられるように支援している。休日・夜間、いつでも相談・受診できる協力病院による毎月の訪問診療なども行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合の対応について、家族と話し合い同意文書の準備を行っているが、基本方針やマニュアルなどは整備されていない。	○	重度化した場合や終末期のあり方について、ホームとしての基本指針の確立や、入居契約時から本人、家族の希望を確認し同意書をいただくなど、全職員で終末期対応を共有する仕組み作りに取組み願いたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声かけや対応は、本人の尊厳を最も大事なことととらえ、一人ひとりの違いを尊重して行われている。特にトイレ誘導には排尿・排便チェック表などを活用して傾合を見計り、言葉かけに配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの性格や生活歴を尊重し、その人にあつた支援が行われている。入浴対応や食事から排泄まで、利用者一人ひとりのペースに合わせた支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その日のメニューを利用者と一緒に考えたり、調理、盛り付け、片付け等も利用者ができることを見極めて一緒に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるよう雰囲気づくりも大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、(月・火・木・金)の入浴を基本に、職員と一対一でゆったりとした入浴介助が行われ、一人ひとりの気持ちや習慣に合わせた支援をしている。又、希望があれば、いつでも入浴できる対応も行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や趣味を理解し、その方の得意なことや趣味を把握し、配膳、食器片付け、洗濯物干しや取り込み、掃除や、趣味の手芸、貼り絵、短歌、習字などの活躍の場を提供している。今月の地区文化祭では利用者と職員が一緒になって作った作品が特賞を獲得し、玄関に飾られていた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や、本人の気分、希望に応じて、散歩、買い物やドライブ等に出かけたり、ホームの庭でお茶タイムや畑の手入れなど戸外へ出る機会作りを工夫している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけない暮らしの大切さを理解しており、玄関にセンサーを取り付け、音が鳴るようにしており、利用者の状態を見て日中は鍵を掛けないで見守ることに心がけている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけられている	年2回以上日中・夜間対応の防災訓練を定期的に行っており、隣の住人への協力もお願いしているが、非常時の連携作りは十分とは言えない。	○	近隣消防署への消火・防災訓練の協力依頼や、運営推進会議を通じて地域自治会や住民との協力関係作りなどへ取り組むことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立で量、栄養のバランスを考えた食事が提供出来るよう心掛け、一人ひとりの疾病、体重の増減を把握し支援している。また、水分表を作成し支援している利用者もいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りや廊下・壁などに利用者の作った飾り物やホーム行事の写真、季節の花などが飾られ、居室を含めホーム内は掃除が行き届き快適な空間が整えられていた。こたつの間も設けられ、居室や廊下・居間への段差も無く、要所への手すり取り付け等高齢者への配慮がなされている。また、キッチンからの調理の匂いがするなど、家庭的な雰囲気が感じられた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には愛用の筆筒や家具、仏壇、趣味の習字道具やキーボード、TVなどが持ち込まれ、家族やホームでの写真、利用者が書いた絵などが飾られ、利用者が安心して暮らせる居室環境への工夫がなされている。		